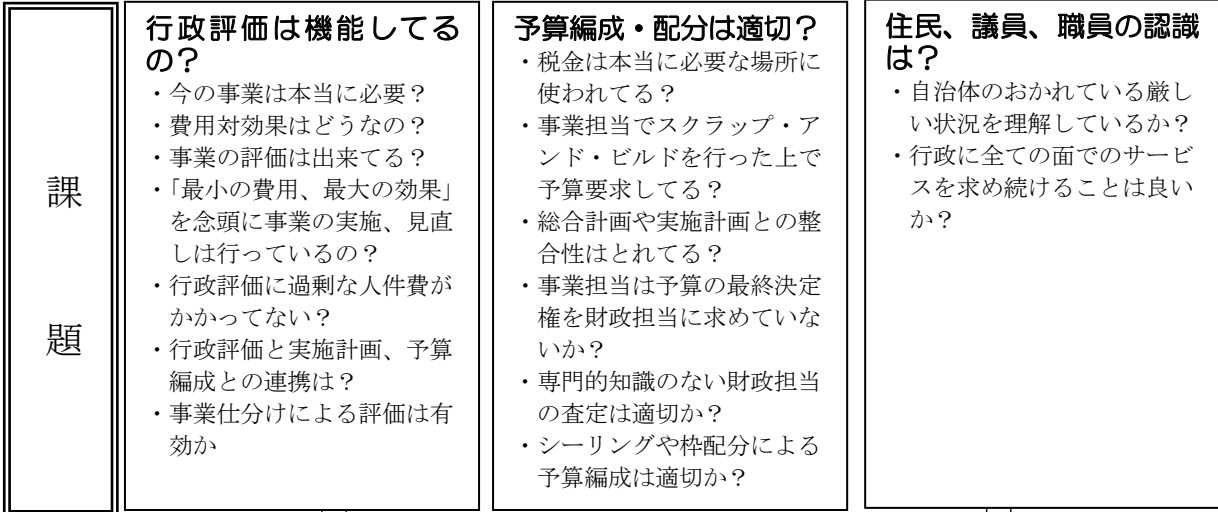
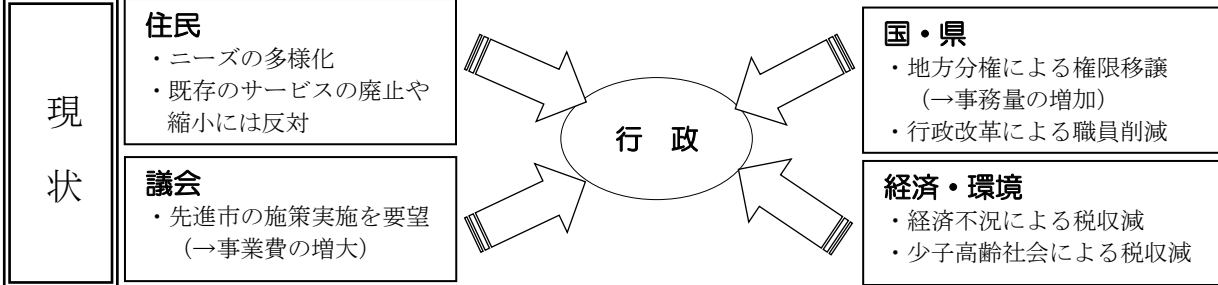


施策提言の要約



目標

一般に行われている行政評価や予算編成の手続きや流れを改善することにより、行政評価から予算編成までの事務において、職員の負担の少ない、効率の良い「最小費用・最大効果を実現するための事務フロー」を見出せないか

提言

「最小費用・最大効果を実現するための事務フロー」実現のために…

- 政策に反映するための評価システムの構築
 - ・職員負担軽減のため評価対象の絞り込み
 - ・毎年の事務事業評価と定年による施策レベルの評価の複合式
 - ・住民など外部の意見を取入れた評価 など
- 行政評価と連携する予算体系と事業担当主導の弾力的運用可能な予算配分
 - ・部単位から政策単位へ配分する枠予算
 - ・複数年を見越した予算配分
 - ・財政担当から事業担当への予算編成権の移譲 など

これらを複合的に組合せたハイブリッド型システムの構築を目指す。

目次

第1章 現状と課題

I. 現状	1
1. 地方公共団体を取り巻く環境変化	1
2. 行政評価	1
3. 予算編成・予算配分	1
II. 課題	2
1. 今の行政評価は機能しているのか	2
2. 今の予算編成の方法とその予算配分は適切に行われているか	3
3. 住民及び議員はどのような認識をしているか	3

第2章 政策の理念

I. 政策の理念	4
1. 何を目指すのか	4
2. 「ハイブリッド型システム」の提案	4

第3章 実効性のある新しいシステムの構築～政策の提言～

ハイブリッド型システムの概要	5
I. 財政計画を包含した総合計画の実施計画の策定	6
1. 計画期間	6
2. 組織の枠を超えた施策単位の内部連携組織	6
3. 実施計画	6
II. 行政評価	7
1. 効率改善の評価制度	7
2. 情報公開による透明性の確保	9
III. 予算編成及び予算配分	10
1. 実施計画期間の施策総体予算枠と人工数の設定	10
2. 施策別枠配分方式による予算編成	11

おわりに